

テーマ 12

教科とのかかわり

社会



SDGsに関連した体験プログラム



ふれあって感動する

～農作業体験と農家民泊～ 県南地域

学習のねらいとその効果

- ① 季節に応じた農作業を農家の方と一緒に汗を流しながら体験することを通じ、農業の大切さ、食糧や食の大切さ、働くことの喜びと尊さを学ぶ。
- ② 昼は農作業体験を行い、夜は農家の方と一緒に食卓を囲んで語り合うことを通じ、青森特有の方言や食事など地域に根ざした文化を学ぶ。
- ③ 農家の方との心と心のふれあいを通じ、かけがえのない思い出をつくるとともに、自分自身や家族、友人のことを考え、成長するきっかけとする。
- ④ 食料自給率の低迷や後継者問題などの農業問題や日本の農業の将来について考えるきっかけとする。



私たちの「食」と「農」の関係を学ぶ

体験をとおして



町全体で交流をサポート 達者村のグリーン・ツーリズム

青森県南部地方の拠点・八戸市の西部に隣接する南部町では、水稻や野菜のほか、さくらんぼをはじめとする果樹栽培が盛んです。この地域では、1993年より農作業体験や農家民泊を意欲的に受け入れ、都市住民との交流によって町の活性化を図ってきました。2004年には青森県と協働で「達者村(※)」を開村し、町への長期滞在や定住を見据えた取り組みを展開しています。2005年にはそれまでの取り組みが評価され、「JTB交流文化賞」や「オーライ!ニッポン大賞内閣総理大臣賞」などを受賞しました。

受入団体である「達者村ホームステイ連絡協議会」は、農林漁業体験民宿34軒で構成され、100人までの受け入れが可能。事故発生時マニュアルの配備、グリーン・ツーリズム賠償責任保険への加入、関係機関と連携した緊急時

の連絡体制の確立など、安全・安心面の体制も充実しています。

※「達者」とは、健康・長生きし、物事に熟達することを意味し、交流によってお互いが達者になるとうい願いが込められています。

地域の持ち味を生かしながら 豊かな体験の場を提供

広域で連携した取り組みを行っているのが「三八地方農業観光振興協議会」です。南部町、三戸町、八戸市、田子町、階上町、五戸町、新郷村が構成員となり、「達者村ホームステイ連絡協議会(南部町)」「さんのへホームステイ連絡協議会(三戸町)」「南の郷ツーリズム協議会(八戸市)」「たっこ・ツーリズム受入農家の会(田子町)」「はしかみグリーン・ツーリズム協議会(階上町)」「青森ごのへグリーン・ツーリズム協議会(五戸町)」「しんごうグリーン・ツーリズム協議会(新郷村)」の農林漁業体験民宿約60軒が、各地域の持ち味を生かしながら最大180人まで受け入れています。ま

た、宿泊だけでなく、日帰りでの体験研修も受入れています。

十和田市では生産量日本一のにんにくをはじめ、長いもなどの畑作、畜産、内水面漁業、稲作、林業が盛んに行われています。この地でグリーン・ツーリズムを展開する「十和田農業体験連絡協議会」は、20軒で構成され、日帰り最大100人(民泊30人)までの受け入れが可能です。その他、「七戸町かだれ田舎体験協議会」では日帰り最大50人(民泊28人)まで受け入れが可能です。安全・安心対策はもちろん、おもてなしの心を第一に受入内容の向上・充実に努めています。農作業の後は、農家の方々と一緒に調理した長いも料理などを味わいながら交流を深めます。

安心・安全の農家民宿

青森県の受け入れ農家は、旅館業法の営業許可を取得または住宅宿泊事業法による届出をしている農家民宿。事故発生時のマニュアル配備や賠償責任保険への加入なども万全で、病院・消防署・警察・保健所と連携し、緊急時の連絡体制を確立しています。

体験プランの一例 2泊3日

入村式をして受入農家と対面し、各農家に分かれま。2日目、3日目はじっくりと農作業を体験。農家生活を通じ、農業や人のふれあいの大切さを直に学びます。

1日目(午後)

- ①入村式
- ②対面式
- ③各農家へ分散



終日農作業体験

※学校関係者は、協議会事務局とともに各農園を巡回します。

【作業内容の一例】

- 三八地方農業観光振興協議会
- 十和田農業体験連絡協議会
- 七戸町かだれ田舎体験協議会の各作業内容
- 5月… りんご(人工授粉・摘花・摘果)、田植え等/田植え、野菜・きのこの収穫等
- 6月… さくらんぼもぎ取り等/野菜の収穫・播種等
- 7月… 水田の草刈り、梅もぎ取り等/ニンニク・野菜の収穫等
- 8月… 野菜の収穫等/ニンニクの乾燥・調整、野菜の収穫等
- 9月… りんご(除袋・葉摘み・収穫)、稲刈り、食用菊収穫等/稲刈り(下旬から)、ニンニクの植付け等
- 10月… りんごの着色管理・収穫/稲刈り(中旬まで)、長芋の収穫等
- 冬季… りんごの木の枝の剪定作業等

【雨天時の対応】

各農家の作業体系に基づいて、作業小屋やビニールハウスなどにおいて農作業や農産加工を体験します。

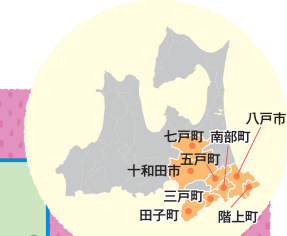
【食事】

郷土料理や地元食材を中心とした各農家の献立により一緒に調理します。



3日目(離村式)

- 事前学習 体験事例DVDを貸出しするほか、学校側との情報交換を行います。
- 事故への対応 グリーン・ツーリズム賠償責任保険に加入。24時間体制で事故等に対応する体制を準備します。
- 事後交流 受入農家による電話・メール・手紙・訪問などを継続して行います。
- 引率者の宿泊先 地区内の施設を紹介します。



おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

三八地方農業観光振興協議会 小中高

お問合せ先 ☎0178-38-5961
住所 / 〒039-0592 南部町大字平字広場28-1
アクセス / 八戸自動車道八戸ICより車で約27分、南郷ICより車で約18分

農業体験学習と農家民泊(半日～2泊3日)

受入会員の自宅に宿泊し、農家の田んぼや畑でその時期に合わせた農作業(稲作、果樹、野菜)を体験します。また、受入会員と一緒に自分たちの食事の調理体験も行います。
※日程の相違等、学校側の相談に応じますので、お問い合わせください。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	8:30～17:00	4～200名	要相談

達者村ホームステイ連絡協議会 P56参照

さんのへホームステイ連絡協議会 P59参照

十和田農業体験連絡協議会 小中高

お問合せ先 ☎080-8206-5608
(十和田農業体験連絡協議会事務局:市民交流プラザ4F内)
住所 / 〒034-0011 十和田市福生町18-33
アクセス / JR「七戸十和田駅」から車で約30分

農家生活体験(半日～2泊3日)

にんにく、長芋、ゴボウ、長ネギなどその時期に合わせた農作業、また、牛の世話など農作業と農家民泊を体験します。

受入期間	体験人数	料金
通年	日帰り～100名(要相談) 民泊～30名(要相談)	要相談

たっこ・ツーリズム受入農家の会 P59参照

青森ごのへグリーン・ツーリズム協議会 P59参照

七戸町かだれ田舎体験協議会 小中高

お問合せ先 ☎0176-58-7109
(一社)しちのへ観光協会
住所 / 〒039-2501 七戸町字荒内207
アクセス / JR「七戸十和田駅」隣接七戸町観光交流センター

田舎生活体験(半日～2泊3日まで)

にんにく、長芋、ゴボウ、米などの農作業体験や、食文化体験、創作体験、和の心体験、雪国体験ができます。

受入期間	体験人数	料金
通年	日帰り 要相談 民泊 ~28名	要相談

南の郷ツーリズム協議会 P59参照

はしかみグリーン・ツーリズム協議会 P59参照